

令和8年度安芸高田市歴史民俗博物館秋季企画展

芸備線全通90年記念 安芸高田 芸備線物語

いつの世にも変わらぬ人の往来、芸備線が運んだ人生の哀歓…



2026年
10月2日(金) ▶ 12月7日(月)

快速「ちどり」(吉田口駅、1956年)

安芸高田市歴史民俗博物館

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278-1 TEL0826-42-0070

■開館時間/9:00～17:00 ■休館日/火曜日(11/3を除く)、11月4日(水)

■入館料/500円、中学生以下無料 ■後援/芸備線対策協議会



安芸高田 芸備線物語

現在、安芸高田市内唯一の鉄道路線で、3駅（向原・吉田口・甲立）が設置されている芸備線は、本年2026年に全通90年を迎えました。一方で近年路線の存続を巡る協議が始まっています。芸備線は単なる交通手段にとどまらず地域の暮らしをつなぎ、文化交流を促進し、地域産業の発展を支えてきました。その歩みは、変わりゆく風景と人々の営みを伝える「物語」であり、本市（高田郡）の近現代史の1ページでもあります。

当館では、芸備線の「物語」を未来へ繋ぐべくその歴史を紹介する企画展を開催します。古写真や関係資料を展示し、市民はもちろん、市外の鉄道・歴史を愛する方も気軽にお楽しみ頂けますので、ぜひお越しください。



芸備鉄道株式会社ポスター（個人蔵、1915年）



開業時の向原駅と駅員（1915年）

【芸備線略年表】

明治45年(1912)	芸備鉄道株式会社設立
大正2年(1913)	下深川停車場にて起工式
大正4年(1915)	4/28東広島志和地間開通、6/1志和地三次間開通
大正12年(1923)	12/8備後庄原まで開通
昭和11年(1936)	10/10国鉄三神線、備後落合まで延伸開業(芸備線全通)
昭和20年(1945)	広島に原爆が投下され、被爆者を県北へ移送
昭和28年(1953)	広島米子間、木次線經由週末快速「ちどり」運転開始
昭和45年(1970)	10/1広島三次間を無煙化(SL廃止)
昭和61年(1986)	芸備線の貨物運輸営業廃止
昭和62年(1987)	民営化により西日本旅客鉄道の「JR芸備線」となる
平成3年(1991)	広島三次間ワンマン運行開始
平成27年(2015)	芸備線開通(広島三次間)開通100年
令和6年(2024)	沿線自治体による芸備線再構築協議会設置



芸備鉄道開通記念絵葉書（個人蔵、1915年）



急行ちどりヘッドマーク
（個人蔵、1953年）



毛利元就生誕500年記念
ヘッドマーク(1997年)

【関連イベント】

(1) 展示解説(申込不要)

- ◇日 時:10月4・18日、11月1・15・29日(日曜日)11時～11時40分
- ◇解 説:当館副館長 秋本哲治

(2) 公開講座「アーカイブズにみる芸備線の成り立ちと地域」

- ◇日 時:10月11日(日曜日) 13時30分～15時30分
- ◇場 所:安芸高田市民文化センター マルシンクリスタルアージュ小ホール
- ◇講 師:西向宏介氏(広島県立文書館職員)
- ◇参加費:500円(入館料込) ◇定 員:150人(要申込)

(3) 芸備線ガイドツアー～そうだ、芸備線に乗ろう～

- ◇日 時:11月15日(日曜日) 13時～16時
- ◇行 程:当館～バス～向原駅＝鉄道＝上三田駅＝鉄道＝甲立駅～バス～当館
- ◇定 員:20人(安芸高田市在住者及び市内通勤通学者限定)
- ◇参加費:3,000円(入館料・バス代・保険料込)、小中学生以下1,000円
- ◇案 内:当館副館長 秋本哲治
- ◇申 込:10/2(金曜日)9時～ ※鉄道運賃は別途必要

(申込・問い合わせ) 安芸高田市歴史民俗博物館 TEL0826-42-0070



当館オリジナルグッズ製作!

●切符風入館券

会期中入館者全員に贈呈します

●芸備線「御駅印」

向原・吉田口・甲立駅の3種類を当館で販売